

日本学術振興会  
炭素材料第117委員会  
第318回委員会議事録

1. 日 時 平成28年7月22日(金) 9:30~17:30
2. 場 所 産業技術総合研究所 臨海副都心センター別館11階会議室1
3. 出席者 44名(順不同・敬称略)
- 委員長： 川口雅之(大阪電通大)
- 副委員長： 藤本宏之(大阪ガス)
- 主査： 尾崎純一(群馬大)、豊田昌宏(大分大)、児玉昌也(産総研つくば)
- 幹事： 稲垣道夫(北海道大名誉)、安田榮一(東工大名誉)、遠藤守信(信州大)、京谷隆(東北大)、塩谷正俊(東工大)、丸山純(大阪市工研)、棚池修(産総研東北)
- 委員： 新井啓哲(東海カーボン)、岩下哲雄(産総研つくば)、清原健司(産総研関西)、太田道也(群馬高専)、小田廣和(関西大)、戸田晋次郎(日本電極)、園部直弘(クレハ)、高波浩(タンケンシーラセーコウ/代理：川村良一)、忠政明彦(パナソニック・エコソリューションズ)、羽鳥浩章(産総研つくば)、福田哲生(新日鉄住金化学/代理：水内和彦)、向井紳(北海道大)、森田純子(東洋炭素/代：太田直人)、山下良(新日本テクノカーボン/代理：武藤剛範)、山根一真(戸田工業)、河合隆伸(日本カーボン)、
- 委員外： 曾根田靖(産総研つくば)、西澤節(神戸製鋼)、菱山幸宥(東京都市大名誉)、吉澤徳子(産総研つくば)、山田能生(産総研つくば)、斎藤幸恵(東大)、石井孝文(群馬大)
- 同伴者他： 加登裕也(産総研つくば)、西政康(産総研つくば)、秋田恭弘(クレハ)、今治誠(クレハ)、兒島勇(タンケンシーラセーコウ)、野村敬太(東北大)、長谷川丈二(大阪大)、松村一輝(大分大)、小野塚洸太(群馬高専)

4. 本委員会議事経過

4-1 前回議事録の承認

- ・ 第317回委員会議事録(案)の確認と承認を行った。
- ・ A, B, C分科会議事録(案)について、確認と承認を行った。

4-2 117委員会関連報告

(1) 委員長報告など

①会員の異動

新規入会： 戸田工業(株) 山根一真様

交代： 原研機構 角田淳弥様 → 柴田大受様  
九州大学 持田勲様 → 尹聖昊様 ※持田先生は委員外登録に

退会： 中島剛様(元・愛工大)、安部郁夫様(元・大阪市工研)、木村脩七様(元・東工大)、高島正之様(元・福井大)、向後保雄様(東京理科大)、夏目勇様(元・東海カーボン)、鏑木裕様(元・東京都市大)、大柳満之様(龍谷大)、  
松浦忠様(元・東芝)、鈴木弘茂様(元・東工大)、佐藤千之助様(元・茨城大)  
※継続審査に伴う名簿情報更新作業をきっかけにお申し出があったもの。

②平成 28 年度年間計画について

下記の通り、委員会を計画している。

- ・ 第 318 回：平成 28 年 7 月 22 日（金） @産総研臨海副都心センター
- ・ 第 319 回：平成 28 年 9 月 8 日（木） @大阪電気通信大学  
※午後から開始する。  
※翌日 9 日は同場所で日仏セミナーを開催
- ・ 第 320 回：平成 28 年 11 月 11 日（金） @東大
- ・ 第 321 回：平成 29 年 4 月 @東京地区

次回の 9 月 8 日は、午後よりのみ、本委員会→B→C→A の順で開催を行う。分科会は時間がいつもより短いので、発表申し込み受け入れ数はいつもより若干少ないが、とりあえずは積極的に発表申し込みを検討して欲しい。

③ 本年度の特別事業：日仏セミナーについて

- ・ 日程は、319 回委員会の翌日 9/9 に大阪電通大・駅前キャンパス（寝屋川市）を会場として終日開催する。10 時より開始し 17：40 まで。夕刻 18 時より懇親会も行う。9/10 はフランス人招聘者の見学会や実行委員会等が関係者のみで行われる予定。
- ・ プログラムを確定し、スライドで紹介を行った。7/25 に特設 HP 上で公開をする。
- ・ 参加申し込みも 7/25 より開始する。懇親会は 5,000 円/人の予定。

④ 設置継続審査について

- ・ 学振の産学協力委員会は全て、5 年ごとに継続の審査を受けることになった。117 委員会は、今年の 8 月に審査を受けるので準備をしている。認められると、10/1 より新たに 5 年間の設置となる。
- ・ 結果は決まり次第報告する。なお、会員にはこの件での手続きが生じることはない。
- ・ 審査に合わせて、運営内規の改定を予定している。11 月の委員会で承認をいただく予定。

(2) 分科会資料（発表順）

- 117-318-A-1 TPD 及び XPS を用いた炭素材料の官能基評価  
(大分大院工) ○松村一輝、衣本太郎、津村朋樹、豊田昌宏
- 117-318-A-2 新カーボン用語辞典検討結果報告  
(東工大名誉) ○安田榮一
- 117-318-A-3 炭素材のk空間ジオメトリー、graphene  
(東京都市大名誉) ○菱山幸宥、鏑木裕

- 117-318-B-1 単層グラフェンからなるメソ孔炭素体の得意な性質  
(東北大多元研<sup>1</sup>、日産自動車<sup>2</sup>) ○野村敬太<sup>1</sup>、西原洋知<sup>1</sup>、志村智哉<sup>1</sup>、伊藤仁<sup>2</sup>、在原一輝<sup>2</sup>、大間敦史<sup>2</sup>、京谷隆<sup>1</sup>
- 117-318-B-2 “Super-helicone” (らせん円錐超構造) 炭素の構造、形成、インターカレーション  
(東大院農生) ○斎藤幸恵、(東大物性研) 浜根大輔、(大阪ガス) 吉川正晃、藤本宏之、(東京工芸大) 松本里香
- 117-318-B-3 多孔質ハードカーボンの電気化学的Naイオン吸蔵特性  
(阪大産研) ○長谷川丈二、(京大院理) 金森主祥、中西和樹、(京大院工) 安部武志
- 117-318-C-1 グラフェンライクグラファイトへの窒素ドーピングとその効果  
(兵庫県立大) ○松尾吉晃、丸山舜也、(NEC) 程騫、岡本穩治、田村宜之
- 117-318-C-2 鉄-銅二元系触媒を用いるカーボンアロイの合成とその酸素還元活性  
(群馬大<sup>1</sup>、日清紡<sup>2</sup>) ○石井孝文<sup>1</sup>、浜野幹也<sup>1</sup>、真家卓也<sup>1</sup>、水尻まゆみ<sup>2</sup>、岸本武亮<sup>2</sup>、今城靖雄<sup>2</sup>、尾崎純一<sup>1</sup>
- 117-318-C-3 単層カーボンナノチューブの一次元マイクロ孔内に制約された亜鉛イオンの水和構造  
(産総研つくば<sup>1</sup>、岡山大<sup>2</sup>) ○西政康<sup>1,2</sup>、大久保貴広<sup>2</sup>、高木英行<sup>1</sup>、黒田泰重<sup>2</sup>

#### 4-3 その他報告事項

##### (1) 炭素材料学会近況報告

※ 羽鳥委員 (学会運営委員長) より学会運営について以下の報告があった。

- ・9/2 にスキルアップセミナーが東京教育会館で行われる。
- ・夏季セミナーは信州大学の村松先生のお世話で、8/29-30 に富士通労働組合総合センターにて行われる。
- ・本年度の年会は千葉大の加納先生のお世話で同・けやき会館で開催される。現在発表申し込み中で、8/22 締め切り。

※ 曾根田会員 (学会編集委員長) より以下の報告があった。

- ・6/15 付で 273 号が発行された。274 号は 9/1 予定。
- ・6/15 より、投稿規定の改定を行った。これまで義務としていた別刷購入を義務ではなく任意とし、代わりに 1 ページ 5,000 円の掲載料を設けることとした。

※ 京谷幹事 (学会会長) より、CARBON2020 の日本・京都での開催が決まったことが報告された。日程は、2020 年 6/28-7/3 で、場所は京都市勧業館「みやこめっせ」。

##### (2) 国際会議関係

- ・川口委員長より、CARBON2016 が 7 月 10-15 日にペンシルバニア州立大学 (米国) で行われたことが報告された。遠藤幹事がワークショップなども含め多くの講演をされていたとのこと。
- ・CARBON2017 はオーストラリアで開かれ、羽鳥委員が Plenary Lecture を行う予定。

CARBON2018 はスペインのマドリードで開催。

・第6回の日独セミナーはドイツ側と相談し、117委員会主催で2017年11月に関西地区で開催することが決定した。今後企画を進め、随時情報は公開する。

### (3)CARBON 誌関係

・現在の投稿数は、月 300 報、年間 3,600 報のペース。このうち、年間約 1,000 報が publish されている。IF は1 昨年に 6 を超えて以来、今年 6.198 で、横ばい～微増の状態である。

### (4)その他報告

・西澤会員より、高校の教科書でグラファイトの結合形式で、シグマ電子3つ+自由電子という正確ではない説明が掲載されているので驚いた、という話題提供があった。入試にも使われているらしい、とのこと。

(以上)